

## 各種報告

### JRグループ労組連絡会第3回幹事会開催

3月26日、JRグループ労組連絡会は第3回幹事会を開催し、貨物連合からは南関東ロジ労組山田委員長、エリア代表として貨物鉄産労小山執行委員が出席し、主に①新型コロナウイルス感染拡大への対応について ②2020春闘の取り組みについて ③JR連合「ビジョン」の具現化に向けた取り組みについて協議が行われました。

出席者からは、鉄道利用者の減少に伴い、ホテル・飲食・物販・旅行・バス・船舶などで相次ぐキャンセルや営業時間短縮、ホテルの休館、JR九州高速船(株)に至っては感染防止対策の一環として政府から全便運航休止を要請され、一次帰休が実施となるなど、今後の雇用調整の不安や、JR各社の業績悪化に伴う工事量縮小、委託料減額の懸念が報告されました。

貨物連合からは、現時点でグループ会社の業績や雇用調整もなく、新型コロナウイルスによる甚大な影響は出ていないが、先が見えない状況により、いずれ大きな影響が出る予想され不安は隠せないと説明しました。

幹事会として、今後もグループ労組と連携や情報共有を図り、会社や政府に対する要望などを把握し、取り組んでいくことを意思統一しました。

### JR二島・貨物経営自立実現PT第5回会合を開催

働く者の視点で経営自立を求めていく！



3月26日、「JR二島・貨物経営自立実現PT」第5回会合を開催し、貨物鉄産労からは大杉委員長が出席しました。

経営自立に向けた道筋を示すための政策提言について、共同座長である泉健太衆議院議員、小川淳也衆議院議員、広田一衆議院議員をはじめ、PTメンバーで意見交換を実施した。今回はアドバイザーである専修大学の太田和博教授、流通経済大学の板谷和也教授にも参加いただきました。

事務局からは政策提言の素案を説明し、とりわけ、若手や中堅の離職者が年々増加している状況を踏まえ、JR二島・貨物会社が地域を支える、

社会的使命を果たしつつ働く者が誇りと意欲を持ち、安心して働き続けられるような環境を構築していくことを理念に掲げ、当面必要な経営支援の継続とともに、経営自立の将来像の明確化とそこからのバックキャスト的思考に基づいた支援実施を求めていくことを基調としました。

これに対し、当該単組代表者からは働く仲間への想いを寄せた発言や当該地域における各関係者との協議状況等が示され、アドバイザーからは諸外国における鉄道をはじめとする公共交通のあり方などが紹介されるなど、より実効性ある内容とすべく共同座長らと意見を交わしあいました。

PT終了後は政策提言策定WT第2回会合を開催し、アドバイザーの教授陣を中心により具体的な方策についても議論した。今後、さらなる議論を重ね、働く者の視点から経営自立を実現すべく、政策提言を練り上げていきます。

### 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、JR産業・雇用を守る取り組みを展開

JR連合は、新型コロナウイルスの感染拡大の現状に鑑み、3月27日、JR各単組と、それぞれ今後の対応について協議し貨物鉄産労からは大杉委員長が出席しました。

目下、厳しい状況には違いないが、私たちは労働組合の立場として、JR産業に働く全ての仲間の雇用を守ることが最優先事項であります。事態は長期化の様相を見せていますが、JR連合はグループ労組を中心

とした意見要望を重く受け止めて、苦しい状況を労使で乗り越えるべく、JR産業を構成する全ての会社が雇用確保を堅持するよう各単組と連携して各社に働きかけるとともに、それを可能とする経営環境にすべく、産業保護及び産業振興の観点から政治・行政へ政策要請を展開する方針をそれぞれのお互い交換の場において確認しました。



### 愛知機関区分会が分会大会を開催

3月6日、一宮市内にて愛知機関区分会大会を開催し、分会役員8名が参加、地区本部からは奥田委員長が駆けつけて頂きました。

冒頭、新井分会長より組織の状況や取り組みの経過等について述べられ、奥田委員長からは、会社の状況や春闘、現在流している新型コロナウイルスについて挨拶を頂きました。その後



は、職場で起きている問題点等を話し合い、懇親を深めました。

・2020年度、事業計画内容が示される。  
※詳しくは、JR貨物ホームページをご参照ください。

鉄道事業営業収益	・1461億
鉄道事業営業利益	・0
関連事業営業収益	・168億
関連事業営業利益	・97億
全事業営業収益	・1629億
全事業営業利益	・97億
経常利益	・86億
当期純利益	・51億
連結営業収益	・2005億
連結営業利益	・100億

消費税10%・新型コロナウイルス・東京オリンピック延期の三重苦により、景気の混乱は、1年〜2年続くのではないかと見られています。

先行きが全く見えない状況で、JR貨物にも大きな影響が出ると予想され、今後、列車の運休や作業変更等が生じる可能性もありますが、私達がやるべきことは、安全安定輸送に努めることであり、思い込みによる作業等は決してせず、日々の打ち合わせを確実に行って業務を遂行してください。

・新年度が始まりました。新型コロナウイルス感染の収束が見えず、不安な気持ちになります。まずは自分で出来る感染予防対策を率先して行うようよろしくお願いいたします。

・4月1日から、評価者による評価が始まります。初めてのことで不安があるかと思いますが、聞きたいことがありましたら組合役員までお願い致します。